

学内広報誌

じんげん ア ジ ー ル asile

pp.1-2 巻頭特集 開館20周年記念

大学の「知」の集積
大谷大学博物館って
どんなところ？

秋冬号
2023

大谷大学広報誌



pp.3-4

博物館学課程2023年度実習生展 報告
学生による博物館展示

大学の「知」の集積 大谷大学博物館って どんなところ？



大谷大学博物館は、大谷大学の前身である東本願寺学寮が1665年に創立されて以降収蔵されてきた多くの史・資料を広く社会に展示・公開するために設立され、2003年10月に開館しました。



1. 館蔵品は真宗・仏教学・哲学・歴史学・文学など多分野にわたっています。特に、アジア圏の史・資料や東洋学、日本史研究に資する漢籍、和書、古文書類など、世界的にも貴重な史・資料が豊富です。
史・資料数 約12,000件
うち、重要文化財 10件
2. 展観では館蔵品を中心に紹介する春季・夏季・秋季・冬季の年4回の企画展と、他機関からの出品を含む特別展を開催。年間約150日開館しています。
3. 博物館学芸員の資格取得をめざす学生に向けた「博物館学課程」において、理論を学ぶだけでなく、実践できる場としても機能しています。
学生による実習生展報告は3~4ページ
4. 博物館がある響流館には、展示準備室や調査研究室、恒温恒湿度管理がなされた収蔵庫・一時保管庫、虫菌害駆除のための燻蒸室などの施設が充実しています。調査研究に必要な機器も整備されています。

大谷大学博物館所蔵 重要文化財一覧

作品名	時代	作品名	時代
1 宋拓「化度寺故僧邕禅师舍利塔銘」	中国・宋代 (原品：唐代・亡佚)	6 『春記』(長久2年2月)	平安時代
2 宋拓「信行禅师興教碑」	中国・宋代 (原品：唐代・亡佚)	7 「後白河院序下文」	平安時代
3 『判比量論』断簡	八世紀	8 『選択本願念仏集』	鎌倉時代
4 『高野雑筆集』	平安時代	9 『慈鎮和尚伝』	鎌倉時代
5 『三教指帰注集』	平安時代	10 「湯浅景基寄進状」	鎌倉時代

博物館長にきく 大谷大学 博物館の魅力

「本物」に出あえる場所

博物館の設立は今から20年前ですが、コレクションは本学の前身である東本願寺の学寮時代から集積されてきたものです。以前は図書館で収蔵・展示されていましたが、適切な保管と研究、情報発信のためには恒常的な施設が必要ではないか、何よりも博物館学課程の実習施設が必要だと、近代化100周年記念として「響流館」が建つ際に、当時、歴史学科の教員だったわれわれが要望して生まれた博物館です。

館蔵品は仏教典籍を中心に、考古資料や民俗資料など、多くは先人たちが継承したもので、うち重要文化財は10件あり、学外の研究者からも高い評価を得ています。ほかにも退任された先生方からの寄贈品も多く、いずれも実際に手元に置いて研究されてきた貴重な史・資料です。つまり館蔵品は「本学の学問を象徴するもの」と言えます。

展覧会は、学生だけではなく全世代を対象としています。仏教の古い経典などは、難しいと思われるかも知れませんが、たとえば製本の仕方、文字の形などを見るだけでも、おもしろく、何か感じるものがあるので

博物館学芸員という狭き門をめざす学生たち。大学の博物館学課程には大きく二通りの考え方があって、一つは博物館の理解者を育てるといふもの、もう一つは実際に学芸員になる人を真剣に育てるといふもの。本学に博物館学課程が1987年に開設された当時から、教員も実際の学芸員を育てることをめざして真剣に取り組んできました。実習に至るまでに断念する人も少なくありません。実習生たちはいくつものハードルを越え、3年間で多くの単位を修得しています。

学外実習で、さまざまな挫折を味わったこともあるはずですが、また実習先を自分で開拓する学生も少なからずいて、地元との関係性をつくることにも役立っています。中には、

博物館学課程における実践の場

はなではないでしょうか。大切なことは「本物」を見ることができるといふことです。本物に出あい、知り、本物が持つ力を感じることが大切です。

展覧会は、春夏秋冬の年4回の企画展と特別展を開催しています。そのうち秋季企画展は、通常、館蔵の逸品(重要文化財)の展示と、博物館学課程の実習生による実習生展を実施しています。実習生展は、博物館学課程の3年間にわたる学びの集大成、総仕上げにあたります。企画から調査、撮影や解説文作成、レイアウト、リーフレット制作など、展示に関わる学芸員の仕事を全てひと通り、自分たちの手で行うのです。今年度の実習生展は特に大変でした。開館20周年、宗祖親鸞聖人誕生850年・立教開宗800年にあたり、特別展で館蔵の重要文化財すべてを展示するため、秋季企画展は、実習生たちの展示のみで開催することになったからです。

全ての学部とつながる博物館へ

何度も全国の博物館・美術館を受験して、ようやく学芸員になった卒業生もいます。学力だけでなく根性も大事なのです。

多くの学生に、ぜひ本学に限らず博物館を訪れてほしいと思います。国際学部の人ならキャプションの英訳や外国語訳などから興味が湧く、教育学部の人なら学校の教育プログラムとの連携が考えられる、社会学部の人なら地域とのコラボレーションをコーディネートするなど、それぞれの学びならではのアプローチがあります。また将来の選択肢が広がる機会になるかもしれません。

展覧会の王道の鑑賞方法は下調べをすることですが、何も知らずに見て、感じるものがあるれば、そこから興味を広げていくという方法もあります。ぜひ、「本物」に出あいに博物館へ来てください。



3. 開館・展示ガイド 期間：2023年9月5日（火）～9月23日（土）



内覧会の様子(報道機関対象)



展示解説の様子

開期中、自分たちが準備してきた展示について、展示ガイドとして来館された方に解説します。作品を一通り解説するため、最後まで手を動かさずに調べや準備を入念に行います。2023年度は来館者数が656名となり、多くの方に大谷大学の館蔵品を知ってもらえる機会となりました。

学生メッセージ

A班

この大学の特徴や強みはなにか班で相談して、大谷大学と縁深い親鸞聖人をテーマにしました。4回にわたる企画のプレゼンテーションを経て、ただいたずらに自分たちが展示したいものを展示するだけではなく、訪れる人たちのために展示の意味や見どころを考える大切さを学びました。史・資料の豊富に加え、京都で直接歴史にふれることができる大谷大学は、多様な歴史観の中から、自分なりの捉え方や新たな歴史の魅力に気づくことができる場所です。



長野 滯也

(文学部 歴史学科 第4学年)

B班

展示品同士の間隔や基礎台の位置を統一するなど、展示作業もとても大変でしたが、先生方や調査員みなさんに協力いただき、班のメンバーと形にすることができました。また、プレゼンテーションに向けた企画書の確認や展示品の翻刻など細かな部分まで調査しました。解説では、調べてきたことを観覧者の方に伝える難しさを感じたと同時に、「丁寧に解説いただきありがとうございます」と仰っていただけたことで、達成感とやりがいを感じました。



藤井 翔馬

(文学部 歴史学科 第4学年)

C班

展示する掛け軸に少し傾くクセがあり苦労しましたが、視覚的に真っ直ぐに見えるよう、掛け軸の高さやキャプションの位置を工夫しました。モノの保存状態に配慮して作業に取り組みなければならないことを学びました。また、メンバー間で綿密に情報を共有しあい、アイデアを形にすることのおもしろさにも気づくことができました。本物の史・資料にふれ、文献の調査から解ったことを自分の言葉で伝えられるようになることが、大谷大学で歴史を学ぶことの魅力です。



森 智輝

(文学部 歴史学科 第4学年)

2023年度後期 博物館開館予定

特別展

2023年10月10日（火）～2023年11月28日（火）

大谷大学博物館開館20周年記念
宗祖親鸞聖人誕生850年・立教開宗800年記念
古典籍の魅力2023

冬季企画展

2024年1月13日（土）～2024年2月17日（土）

京都を学ぶ
拓本からみる京の梵鐘

博物館学課程2023年度実習生展 報告
学生による博物館展示

博物館学芸員の資格取得をめざす学生が、3年にわたる学びを経てその成果を発表する展覧会です。学生は3つの班に分かれて、企画から展示、リーフレット制作、展示解説などを行います。半年間にわたる学生たちの活動を紹介します。

1. 企画・立案 4月～6月

第2学年から学んできた知識や、外部の博物館での実習経験を生かして、広い視野をもち実践に臨みます。学生は3班に分かれて展示内容を企画します。2023年度は「親鸞を伝える」、「御霊信仰」、「往生の世界」をテーマに、班ごとに何度かのプレゼンテーションを経て展示内容をブラッシュアップしてきました。

A班

親鸞を伝える
—生涯と伝承—

親鸞の生涯と伝承を紹介。親鸞の事績を伝えようとした人びとも焦点をあてつつ、多様な伝承に着目しました。

B班

御霊信仰

御霊信仰の成立と展開を紹介。御霊信仰のはじまりと背景を踏まえ、その展開としての祇園社と北野社を取り上げました。

C班

往生の世界
—経典と説話—

往生思想の受容とその広がりを紹介。往生思想とはどのようなものであったのか、またさまざまに与えられたその影響について見ました。

2. 展覧会準備 7月～8月

テーマに基づいて、本学の博物館・図書館館蔵品から展示作品リスト(10～15点)を作成。その後、展示作品の調査・撮影を行い、パネルやキャプション原稿、リーフレット等を制作します。最後に展示作業を行い、開館に向けての準備が整います。



資料調査の様子



パネル制作の様子



展示準備の様子

2023年6月20日(火)
新オリジナルコーヒー
「尋珈琲」完成・販売開始

2022年度9月に発足した大谷大学学生会による本学新オリジナルコーヒー制作プロジェクト「大谷ほっとコーヒープロジェクト」(協力:珈舎伊藤珈琲)において、新コーヒー「尋珈琲」が完成しました。
本学では2012年より、北大路商店街の「珈舎 伊藤珈琲」の協力のもと、オリジナルブレンドコーヒー2種を制作し、通称「Otanii Coffee」として販売していました。今回のプロジェクトは、学生会が「コロナ禍で活動が制限されていた中、学生みんなで一つのものを作り上げたい」という想いで発足。豆の選定や焙煎の深さなどを



完成披露会の様子(報道機関対象)

調節して、試作品を使った試飲会を学園祭やオープンキャンパス、新入生歓迎祭で実施し、大学関係者延べ600名以上からの意見を集約して制作しました。深煎りで酸味が少なくすっきりした苦みが特徴です。商品名は本学のシンボルである「尋源館」から命名しました。パッケージデザインも本学学生が担当し、本学と尋源館の伝統を感じられるよう、レトロなイメージに仕上げました。



完成披露会の様子(全学生・教職員対象)

■商品概要

商品名	じんこーりー 尋珈琲
販売店	珈舎 伊藤珈琲 (店頭・ECサイト)
価格	ドリップバッグ8個入りギフトボックス 1200円(税込)
	ドリップバッグ1個 150円(税込)
	豆100g 650円(税込)
	店舗ドリンク提供(HOTのみ)1杯 620円(税込)

※ギフトボックスと豆のみECサイトにて購入可

2023年7月1日(土)
「おたにキッズキャンパス
あそぼう!」を開催

地域交流や施設開放を目的に、小学校教諭をめぐしている教育学科初等教育コースの学生が中心となって子どもたちとの交流イベントを実施しました。本活動では、遊びながら学べる企画の立案から事前準備、当日の運営まで学生が行います。新型コロナウイルス感染拡大以降4年ぶりの開催で、初めて参加する学生も多い中、今回は理科をテーマにしたクイズラリーやさまざまなコーナーを設置。学生が子どもたちの活動をサポートしながら楽しんでもらうことができました。親子95名の参加がありました。



2023年7月13日(木)
バリエニア工科大学
研修団との交流会を開催

GLOBAL SQUARE主催のイベントとして、アメリカ・バリエニア工科大学研修団との交流会を開催しました。この企画は、ネイティブと英語で交流する機会を提供し、グローバルな視野をもつきっかけとなることを目的としています。当日は学生アシスタントの進行のもと、英語と日本語を交えたゲームを参加者全員で楽しみました。ゲームの後にはお菓子をつまみながらの歓談の時間もあり、学生たちが積極的に交流する姿が見られました。



GLOBAL SQUAREでは、外国語を学ぶ機会や留学生との交流イベントを随時開催しています。興味のある方はぜひご参加ください。



2023年7月15日(土・16日)(日)
「祇園祭ごみゼロ大作戦
2023」に本学学生
141名が参加

今年度は総勢141名の本学学生がボランティアスタッフやそのリーダーとして参加しました。本活動は、一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦が主催する、祇園祭期間中のリユース食器使用の推進によるごみの削減、資源ごみの分別、散乱ごみ抑制など環境問題への取り組みです。本学は、2015年度より協賛しています。学生たちは前祭の宵々山・宵山のうち夕方から晩にかけて参加し、リユース食器の回収や、資源ごみの分別の呼びかけを行いました。多くの学生が意欲的に活動し、達成感を得ることができました。



Club Information

2023年度春季大会結果(2023.8.1時点)

- 空手道部
 - 第43回全京都空手道選手権大会
 - 一般男子段外組手の部 準優勝
 - 喜多洋斗(教育学部 教育学科第3学年)
 - 第22回京都市民総合体育大会
 - 第35回京都市空手道選手権大会
 - 個人形競技 成年男子 優勝
 - 鈴木量太(文学部 真宗学科第1学年)
- 陸上競技部
 - 2023年度第1回大阪体育大学競技会
 - 男子三段跳 3位
 - 中西連(文学部 歴史学科第3学年)
 - 第1回CASTLE CARNIVAL IN HIKONE 兼第40回滋賀県リレーカーニバル 兼第82回滋賀県陸上競技選手権大会(10000m) 兼特別国民体育大会選手権大会
 - 男子三段跳 6位
 - 中西連(文学部 歴史学科第3学年)
 - 第82回滋賀県陸上選手権大会
 - 男子三段跳 6位
 - 中西連(文学部 歴史学科第3学年)
- バドミントン部
 - 京都学生バドミントンリーグ戦大会
 - 男子2部 優勝(1部昇格)
 - 女子2部 優勝(1部昇格)
 - 令和5年度関西学生バドミントン春季リーグ戦・入れ替え戦
 - 男子4部 1位(男子3部昇格)
 - 女子4部 2位(女子3部昇格)
 - 令和5年度関西学生バドミントン選手権大会
 - 男子シングルスB ベスト16
 - 土居宗一(文学部 歴史学科第2学年)
 - 男子ダブルスB ベスト16
 - 吉成悠(社会学部 コミュニティデザイン学科第3学年)
 - 黒川 椋平(文学部 歴史学科第3学年)
 - 女子ダブルスB 3位
 - 鞭通加(教育学部 教育学科第3学年)
 - 中村 思絵瑠(文学部 哲学科第2学年)
 - 第78回国民体育大会 バドミントン競技 京都府予選会並びに
 - スポーツマスターズ2023
 - バドミントン競技 京都府予選会
 - 成人男子シングルス ベスト8
 - 沼田 慧和(文学部 文学科第2学年)

※学年は大会時のものです

Topics1

北海道・高知県との
就職支援に関する協定を締結

北海道・高知県と就職支援に関する協定を締結しました。協定締結に伴い、該当の地域から本学に進学した学生・卒業生に対して、さらに充実した支援をするための意見交換が行われました。学生と地域の双方にとって今まで以上に有益な関係が構築できることが期待されます。

協定先一覧(締結順)

- 1 石川県 (2017年11月8日)
- 2 滋賀県 (2017年11月10日)
- 3 京都府 (2018年7月14日)
- 4 福井県 (2020年7月22日)
- 5 長野県 (2020年11月26日)
- 6 福岡県 (2020年11月30日)
- 7 岡山県 (2020年12月1日)
- 8 和歌山県 (2021年2月9日)
- 9 鹿児島県 (2021年3月19日)
- 10 兵庫県 (2021年3月26日)
- 11 新潟県 (2021年10月25日)
- 12 三重県 (2022年7月21日)
- 13 富山県 (2022年9月1日)
- 14 愛知県 (2022年9月9日)
- 15 北海道 (2023年4月28日)
- 16 高知県 (2023年7月31日)

University Festival 紫明祭2023

多くの笑顔や思い出が生まれる大谷大学学園祭「紫明祭」。最高の思い出をつくろう！



2023年度テーマ

Revival of the vitality!!



2023年度テーマ

2023年度の紫明祭テーマは「Revival of the vitality!!」で、活気を復活させるという意味です。2023年度は4年ぶりの模擬店復活や、一般開放となるため、コロナ禍で失われていた活気を取り戻し、本学学生だけでなく地域の方々とともに盛り上がりたいという思いからこのテーマを設定しました。

イベント内容

前夜祭、プロタレントイベントでは、アーティストや声優(予定)をお呼びする予定です。内部音楽イベント、展示では本学学生団体の日頃の活動の成果を発揮してもらう場となるような企画を計画しています。カラオケイベントでは、本学学生・教職員に加え今年度は一般の方にも参加していただき、点数を競ってもらう企画です。後夜祭では、豪華景品が当たる抽選会を実施予定です。模擬店では、各活動団体が模擬店を出店し、お祭りのような食べ物を楽しんでいただけます。どの企画も盛り上がること間違いなしの企画となっているため、ぜひ紫明祭へお越しください。

実行委員からのメッセージ

今年度は一般開放のため、本学学生はもちろんのこと、大学生になった子どもの活動の様子を見たい、一人暮らしをしている子どもの元気な姿を見たいという保護者の方、いつもお世話になっている地域の方々、大学の様子を知りたい高校生など皆さまのご来場をお待ちしております。

学園祭実行委員会 委員長
吉見 菜摘

(教育学部 教育学科幼児教育コース 第3学年)



学園祭実行委員会のSNSはこちら

Instagram
shimeisai



X(旧Twitter)
@shimeisai_2023



Event Schedule

※イベント内容や日程等は変更・中止する可能性があります。

日時	イベント
11月10日(金) 16:30-18:40	前夜祭
11月11日(土) 11:15-14:30 15:50-18:00	内部音楽イベント(学生) カラオケイベント
11月12日(日) 13:00-14:00 16:00-18:10	プロタレントイベント 後夜祭



当日の運営も
学園祭実行委員会が
中心となって
行います！

新入生応援イベント 「ひまわり」開催

2023年8月3日(木)

新入生歓迎実行委員会が中心となり、初めての試みである新入生応援イベント「ひまわり」を開催しました。本イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大により、人と人とのつながりに制限がある高校生活を過ごした新入生に対して、同世代の学生同士でのつながりを深め、大学生活を楽しんでほしいとの願いを込めて企画されたイベントです。

当日は新入生歓迎実行委員会の学生が運営する、模擬店や射的などのゲー



ムコーナー、大学生活の不安や悩みを解消するためのフリートークコーナーが設置され、学部・学科や学年を超えて、学生同士が交流できるイベントとなりました。

参加した学生からは「コロナ禍以降、人が集まる行事が減り寂しい思いがありました。楽しむことができました。」との感想がありました。

お知らせ

高校生を対象とした 図書館の無料開放を実施

高校生を対象として、2024年3月末日まで図書館を無料開放しています。高校生が自習スペースを確保しづらいという近年の状況から、高校生への学習環境の提供、本の閲覧、大学進学後の学習イメージの喚起等を目的とした取り組みとして、8月5日(土)より受付を開始しました。ご家族やお知り合いで利用を希望する高校生の方がいましたら、ぜひご案内ください。

図書館利用の概要

対象	高校生
受付開始	2023年8月5日(土)から
利用期限	2024年3月31日(日)まで
利用時間	本学図書館が定める時間
登録料	無料
受付人数	先着50名程度
利用内容	閲覧のみ(貸出は無し)、その他は図書館のルールに準拠



SNSでも大学の動きをチェックしよう！

大学Webサイトでも
最新情報を更新中！



Instagram



otani_univ

X(旧Twitter)



@otaniuniv_staff

Facebook



@otaniuniversity

YouTube



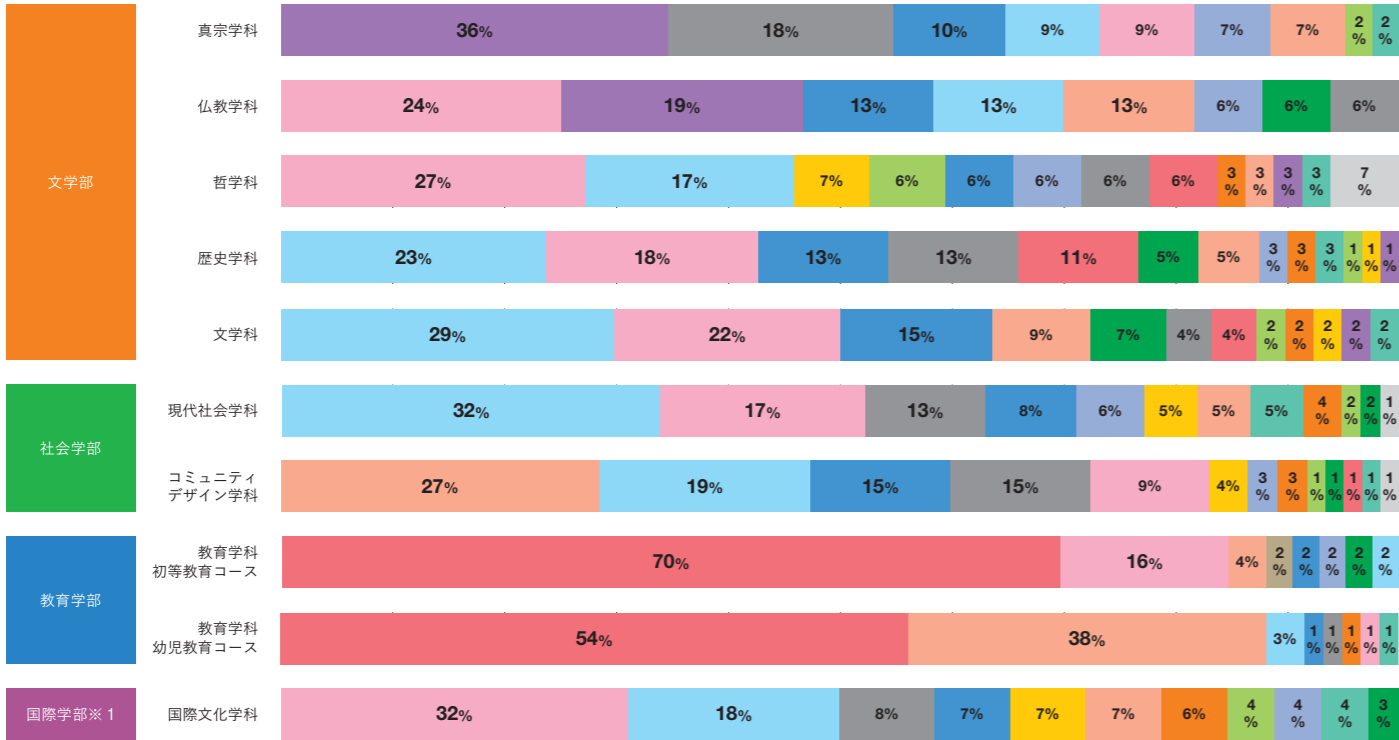
otaniuniversity

2022年度卒業生進路決定状況

卒業生	就職希望		進学		聴講生 科目等	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外	就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$		進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$	
	就職者	就職活動 継続	大学院	大学短大 専修学校				就職者	就職希望者	進路決定者	卒業生
732	623	12	15	23	1	17	41	98.1%		90.3%	

※進路決定者 = 就職者 + 進学者

業種別就職状況 (2022年度)



■農林水産業 ■建設業 ■製造業 ■情報通信業 ■運輸業 ■卸売業 ■小売業 ■金融業 ■不動産業 ■サービス業 ■教育学習業 ■福祉・医療 ■宗教 ■公務 ■その他
※1 国際学部については2022年度文学部国際文化学科卒業生の状況を記載しています。

2022年度就職先 (抜粋)

大学

- 農林水産業** ㈱グランドワンファーム
- 建設業** 京都土木㈱/コープ住宅㈱/生和コーポレーション㈱/横水ハウスリフォーム㈱/大和電設工業㈱/大和ハウス工業㈱/みなみ設備工業㈱
- 製造業** アインズ㈱/旭化工㈱/伊セトー/伊勢丸食品㈱/伊藤園㈱/伊藤ハム㈱/㈱ウッドワン/エー・ウォーター・マツハ㈱/㈱エムスコーポレーション/㈱大阪油圧/㈱ONO plus/オリカ㈱/㈱京写/㈱京都テクニカ/㈱京都プラテック/㈱クローン・パッケージ/㈱グライフック/㈱鼓月/㈱齊藤鐵工所/佐藤 Trait 工業㈱/三友エレクトリック㈱/三和シヤッター工業㈱/滋賀オカダ産業㈱/㈱志津屋/㈱シュクレイ/㈱ジョーニシ/新生化学工業㈱/スケーター㈱/双和電機㈱/大徳食品㈱/㈱高橋合成/たねやグループ/千代田電機㈱/㈱ティーマクト/東洋特殊鋼業㈱/㈱十川ゴム/中本バックス㈱/夏原工業㈱/日進畜産工業㈱/バイン㈱/平和電機㈱/増永眼鏡㈱/盟和産業㈱/㈱メカテック/㈱ユニホーム/㈱ユキオー/利高工業㈱/㈱ロワール/ワキ製菓業㈱/㈱臨木工
- 情報通信業** ㈱イグレス/SCSK サービスウェア㈱/㈱システムディ/㈱総合プランニング/知多メディアネットワーク㈱/㈱ちゅびCOMおのみち/㈱デジタルハーツ/東和インシステム㈱/㈱日本コンピュータ開発/日本コンピュータエンス㈱/㈱ビーエスシー/びわ湖放送㈱/富士ソフト㈱/㈱オーブズ/㈱ユーコム/ワールドビジネスセンター㈱
- 運輸業** アクシオンロジック/㈱岡丸和ロジスティクス/岐阜乗合自動車㈱/神戸エムケイ㈱/㈱サカイ引越センター/シモノ物流㈱/スイスポートジャパン/つばめグループ/名古屋東部陸運㈱/西日本高速道路㈱/西日本高速道路パトロール関西㈱/日本交通㈱/三菱

- 自動車ロジック/㈱/ヤマト運輸
- 卸売業** アイ・ティール・エックス㈱/朝日電器㈱/㈱IDOM/ウライ㈱/㈱エイアンドシー/㈱ACN九州/㈱ENGINE/小川電機㈱/㈱カトージ/鐘通㈱/かね徳水産㈱/川西紙業㈱/京都青果合同㈱/㈱クマハシ/京滋ヤクルト販売㈱/㈱高速/三光機工㈱/㈱三笑堂/滋賀特機㈱/シャーマーケティングジャパン㈱/ジャベル㈱/㈱スズキ自販京都/㈱大黒商会/大松㈱/龍玉精工㈱/タビオ㈱/ダンロップタイヤ近畿㈱/塚喜商事㈱/㈱ツカサ/㈱東邦ホールディングス/トーション㈱/TOTOエムテック㈱/㈱トヨタユーズック/㈱日本電産/パール金属㈱/㈱八興/㈱ファイブフォックス/㈱福井ダイハツ販売㈱/㈱プラザクエイト/㈱マツシマホールディングス/積水ハウス不動産関西㈱/㈱大生産業/㈱ハウスコミュニケーション/ハタス㈱/㈱フォーラス&カンパニー/㈱福屋不動産販売/MIRARTHホールディングス㈱
- 金融・保険業** 大阪厚生信用金庫/京都信用金庫/㈱高知銀行/さつま置業協同組合/但馬信用金庫/淡陽信用組合/津山信用金庫/長浜信用金庫/のぞみ信用組合
- 不動産業** ㈱エリツ/㈱京都ライブ/㈱共立メンテナンス/㈱グランレブリ/㈱ジェイアール西日本総合ビルサービス/SHOWA GROUP㈱/積水ハウス不動産関西㈱/㈱大生産業/㈱ハウスコミュニケーション/ハタス㈱/㈱フォーラス&カンパニー/㈱福屋不動産販売/MIRARTHホールディングス㈱
- 福祉・医療** 生駒学院 児童養護施設生駒学園/えのき会/おおひなた耳鼻咽喉科クリニック/かがやき歯科クリニック/掛川社会福祉事業会 特別養護老人ホームかげわ苑/京都市身体障害児者父母の会連合会/京都社会福祉財団 児童養護施設つばさ園/京都産業大学キキ/ケアステーション奈良/㈱ケア21/啓生会/社団恵仁会 なぎ社病院/恒昭会 藍野病院/宏量福祉社会教育委員会/滋賀県教育委員会/愛荘町教育委員会/大津市教育委員会/津市教育委員会/長浜市教育委員会/東近江市教育委員会/彦根市教育委員会/守山市教育委員会/大津市教育委員会/大阪府豊能地区教職員人事協議会/交野市教育委員会/摂津市教育委員会/高槻市教育委員会/神戸市教育委員会/北海道教育委員会/高崎市教育委員会/横浜市教育委員会/富山県教育委員会/阿智村教育委員会/郡上市教育委員会/浜松市教育委員会/島根県教育委員会/香川県教育委員会/高松市教育委員会/愛媛県教育委員会/大阪商業大学高等学校/京都廣学館高等学校/専修学校ト陽丘予校
- 教員・教育関連業** 京都府教育委員会/京都府教育委員会/相楽東部広域連合教育委員会/滋賀県教育委員会/愛荘町教育委員会/大津市教育委員会/津市教育委員会/長浜市教育委員会/東近江市教育委員会/彦根市教育委員会/守山市教育委員会/大津市教育委員会/大阪府豊能地区教職員人事協議会/交野市教育委員会/摂津市教育委員会/高槻市教育委員会/神戸市教育委員会/北海道教育委員会/高崎市教育委員会/横浜市教育委員会/富山県教育委員会/阿智村教育委員会/郡上市教育委員会/浜松市教育委員会/島根県教育委員会/香川県教育委員会/高松市教育委員会/愛媛県教育委員会/大阪商業大学高等学校/京都廣学館高等学校/専修学校ト陽丘予校
- 幼稚園教諭・保育士・保育教諭** 大津市(保育士)/高島市(保育士)/東近江市(幼稚園教諭・保育教諭)/池田市(幼稚園教諭・保育教諭)/伊丹市(幼稚園教諭・保育教諭)/高槻市(幼稚園教諭・保育教諭)/和歌山市(幼稚園教諭・保育教諭)/今宮幼稚園/大谷幼稚園/桂陽幼稚園/嵯峨幼稚園/聖ドミニコ学院京都幼稚園/泉山幼稚園/そよざせ幼稚園/八条幼稚園/むらさき幼稚園/洛西花園幼稚園/カトリック京都司教区カリタス会 児童養護施設京都聖堂会/上京陵和園/共栄保育園/京都大和の家/朱一保育園/清心福祉会/光の子保育園/まめのき保育園/みつばち菜の花保育園/ゆりかごWECしおん保育園/洛陽保育園/あひるが丘こども園/うづらこども園/こども園ゆりかご/聖三一幼稚園 幼稚園型認定こども園/樹辻こども園/保育所型認定こども園下鴨夢/横島ひいらぎこども園/南山城学園/甲南幼稚園/近江はちまん社会福祉事業協会/草津大谷保育園/小鳩会/長浜愛児園/めぐみ保育園/栗東くら保育園/近江兄弟社ひかり園/速水こども園/ひえいの森こども園/楠京阪幼稚園/せりりひじり幼稚園/ひじりにじいろ保育園/レバノンホーム/安威たんばば学園/松ヶ本認定こども園/幼保連携型認定こども園堺めぐみ学園/チャイルドハークスこども園/奈良学園幼稚園/エイビッドシイ保育園/LIFE SCHOOL塩浜こども園/湘南桜丘幼稚園/㈱日本保育サービス

2022年度 就職決定状況

2022年度学部卒業生の就職率(就職者÷就職希望者)は、学生が最後まであきらめずに就職活動をしたことにより、98.1%と高い就職率を維持することができました。(詳細は10ページ参照)

多くの企業・事業所は、新型コロナウイルス感染症が続く状況でも、採用活動を実施しました。その中で、円滑な就職活動ができたのは、第3学年からキャリアセンター主催のガイダンスなどに出席し、業界研究や履歴書作成、面接対策をした学生、夏期休暇中や授業がない日にインターンシップに参加した学生、早くに企業・事業所にエントリーをした学生です。また、2月に学内で開催した業界企業研究セミナーに出席した学生も、5月には内定を得ることができました。

一方で、就職活動を先延ばしにした学生や、多くの単位を残したことにより授業優先で時間調整ができなかった学生は、就職活動が長期化しました。

2023年度の就職支援について

現在、第4学年の学生は、第3学年前期からキャリアセンター主催のガイダンスや筆記試験対策講座などに出席し、アドバイザーと個人面談(履歴書作成、模擬面接)を行い、就職活動の準備をしています。

3月1日の広報解禁に向けた就職活動直前対策として、2023年2月に3日間、学内にて対面式で開催した「業界企業研究セミナー」には、卒業生が活躍する企業・事業所101社に参加いただき、481人の学生が出席しました。3月1日以降は、自治体や就職情報会社主催の合同企業説明会や、企業・事業所による個

別の説明会が開催され就職活動が本格化しました。

これを機に、キャリアセンターの個人面談を予約し、アドバイザーと履歴書の確認や面接練習などを経て、採用試験を受ける学生が増えました。なお、Web上での就職活動に対応するため、授業のない時間を利用して会社説明会への参加や面接試験を受ける学生のために、学内施設およびパソコンを貸し出しています。

5月10日からは、キャリアセンターから就職希望の学生に電話をかけ、活動状況を確認し、情報提供や採用試験に向けての支援を行いました。さらに、5月16日から6月30日までは、1日1〜3社(計65社)の企業・事業所を学内に招いて対面式の企業説明会を開催し、学生が就職活動に取り組みやすい環境をつくりました。また、公務員や教員採用試験を控えた学生のうち、希望者には、面談や模擬面接などを実施しました。

大企業が採用活動を終了した7月以降は、募集人数に満たなかった企業・事業所や中堅・中小企業が採用活動を行い、秋以降は、教員・公務員試験の結果を受けた企業・事業所の採用活動も展開されます。キャリアセンターでは、学生の状況に応じて個別面談や情報提供、企業・事業所を学内に招いての企業説明会開催などの支援を継続して行います。

第3学年の皆さんへ

関係省庁が取りまとめる「就職・採用活動日程」はあるものの、企業・事業所の採用活動は早期化が続いています。キャリアセンターは、常に情報を収集して、支援に反映させたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症を機に、Webでの就職活動が一般化したため、バ

ソコンなどの通信端末に加え、WebカメラやWiFi環境などを整えることが必要です。一方で、会社説明会から最終面接までのすべてを対面で行う企業・事業所もあります。採用担当者は、Web、対面にかかわらず、学生のやる気や協調性、コミュニケーション能力などを見てほしいとのことです。さらに、新型コロナウイルスの影響で困難な状況においても、前向きに授業を受ける、資格取得やインターンシップに取り組みなど、積極的な姿勢についても注視しているとのことです。

よって、第3学年の学生が対象となる2024年度は、企業・事業所の採用活動の早期化に対応し、キャリアセンターの各種ガイダンスなどは、対面とWebを併用して開催するなど、学生が円滑に準備を進め、就職活動が開始できるように支援を行います。

まずは、夏期休暇中に、自己理解促進のためのアセスメント(GPS・Academic)を実施し、受検結果は、履歴書作成などに活用します。さらに、自己理解、筆記試験対策、業界研究に関する就職ガイダンスも開催する予定です。また、履歴書作成セミナー、ビジネスマナー、面接対策などの支援企画も実施する予定です。履歴書は、「卒業研究」、「学生時代に力を入れたこと」、「私の特徴」で自己アピールをする大切な書類であり、企業独自のエントリーシートにも対応できるため、個人面談でサポートします。なお、教員、公務員をめざす学生、進学希望の学生には、各進路に沿って支援を行います。

今後実施する支援企画については、学生支援システム(大谷大学ユニバーサルパスポート・通称「ユニバ」)、メールなどでお知らせします。

2024年度以降の卒業予定者から、職場体験など条件を満たすインターンシップに参加した学生の情報を、企業・事業所が採用選考に利用することが認められました。

2024年度以降の卒業予定者から、職場体験など条件を満たすインターンシップに参加した学生の情報を、企業・事業所が採用選考に利用することが認められました。

第1学年、第2学年の皆さんへ

大谷大学での学び、学生生活で得た経験(キャリア)が卒業後の進路につながってきます。

企業・事業所が学生に求める力は、「コミュニケーション能力」「主体性」「協調性」最近では「ストレス耐性」も挙がっています。これらの力は、学業、資格取得、クラブ活動、ボランティア、アルバイトなどを通して多くの人の交流で養うことができるものです。また、企業や自治体が実施するオープンカンパニーやキャリア教育企画などに参加することは、社会(会社や業界)を知り、職業観を身につける有効な方法です。さまざまなことに挑戦し、幅広い経験を積みましよう。

大学院の皆さんへ

就職や進学について、質問や相談があれば、キャリアセンターに来てください。アドバイザーとの面談をとおして、進路の方向性を見出し、企業から内定を得た先輩たちもいます。



キャリアセンターを利用する学生の様子

2022年度決算・2023年度予算概要

2022年度決算

2022年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2023年5月19日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会において承認されました。本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。

また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度に行った教育研究等の諸活動に対応する資金の動き（収入と支出）の顛末を明らかにするものです。

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、その年度の諸活動に対応する収入・支出の内容を明らかにし、大学の経営状況を示すものです。

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。

※2022年度決算、各計算書類の詳細は大学Webサイトで確認してください。



2022年度事業報告

教育に関する事業

仏教教育センター

人間学一担当者会議の開催／「きょうのことば」事業の推進／御命日勤行における感謝者の人選／晨朝勤行／仏教教育センター報恩講等

学習支援室

相談数延べ2079名／リメディアル教育に主眼を置き、学習支援アドバイザーによる基礎英語・日本語の読み書きを中心としたきめ細やかな個別指導を実施／学習支援アドバイザーが担当する授業科目（英語）、日本語表現」と連携等

教職支援センター

〔第4学年〕教員採用試験対策講習4（面接講習）／京都府、大阪府、滋賀県などの教員採用試験や講師登録に関する学内説明会

2022年度教員採用試験名簿登録決定状況（2023年3月31日現在把握分）

区分	都道府県	人数
小学校	京都府	2名
	京都市	4名
	滋賀県	4名
	大阪府	5名
	大阪市	1名
	大阪府豊能地区	1名
	北海道	1名
	愛媛県	1名
	島根県	1名
	横浜市	1名
新潟県	1名	

※科目等履修生

〔第3学年〕採用試験受験対策の論文セミナーや各自自治体を想定した願書記入説明会等

〔教員免許更新講習〕年度途中での教員免許更新新制の発展的解消に伴い、制度切り替わりのタイミングで受講が必要な卒業生、関連学校の先生方を対象とし、6月に本学会場で選択領域2講習のみ開講。受講者数は、延べ8名（実人数6名）

2022年度事業活動収支計算書

※教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の活動ごとの収支をあらわします。（左記は教育活動収支の内訳）

事業活動収入計	約48億8千万円
主な収入	
学生生徒等納付金	約37億2千万円
● 授業料、施設設備資金、実験実習料等	
手数料	約8千万円
● 入学検定料等	
経常費等補助金	約7億2千万円
● 国庫補助金（授業料等減免費交付金含む）、地方公共団体補助金	

事業活動支出計	約47億9千万円
人件費	約24億8千万円
教育研究経費	約17億6千万円
うち、主な支出	
● 奨学費 … 約3億1千万円	
● 委託費 … 約4億7千万円	
● 減価償却額 … 約5億円	
管理経費	約5億円
うち、主な支出	
● 広報費 … 約2億円	
● 委託費 … 約1億3千万円	

地域連携室

〔祇園祭〕みゼロ大作戦などコロナ禍前の規模に戻った活動もあり、計16件実施／「グランドビジョン130」に基づき、情報交換や交流を行うネットワーク構築のため、学外から地域連携関係者を招いて座談会を前期・後期で各1回実施（コミュ・ラボカフェ）／2021年4月からスタートした、ふるさと納税を活用した大学・学生と地域のさらなる連携強化を図る取り組みは38名から支援があった

語学学習支援室

海外からの留学生受入れが再開されたことから、留学生との交流イベントを小規模ながら2回開催し、延べ16名が参加／2023年度前期より留学に出発する学生6名（留学先：韓国、カナダ）を対象に出発前並びに危機管理オリエンテーション実施／2023年後期以降の留学希望者に、前後期各1回の留学説明会や個別相談を開催

図書館の学修・教育支援環境の充実

学生一人当たりの年間貸出冊数の目標達成に向けて、年間を通じて、レベル別ガイドランスおよび図書館スタッフによる図書館利用促進企画を実施／学生選書プロジェクトメンバーによる展示を開催／社会学部、教育学部の学生の貸出冊数が2021年度と比べ増加

学生支援に関する事業

奨学金制度の充実

〔高等教育の修学支援新制度〕全学生の13.6%にあたる431名が受給／大学院博士後期課程対象の新たな奨学金制度「大谷大学院博士後期課程研究支援給付奨学金」を制定。2023年度から募集および給付を開始／京都市による「学生支援に取り組む大学応援事業」を活用し、物価高騰や長引くコロナの影響により経済的に困難となった学生を対象

2023年度予算

2023年度予算

2023年度予算は、2023年3月24日開催の学校法人真宗大谷学園理事会において当初予算が承認され7月20日に開催された理事会において修正予算が承認されました。2023年度予算の詳細は大学Webサイトで確認してください。

事業活動収入計	約48億8千万円
主な収入	
学生生徒等納付金	約37億2千万円
● 授業料、施設設備資金、実験実習料等	
手数料	約1億円
● 入学検定料等	
経常費等補助金	約7億円
● 国庫補助金（授業料等減免費交付金含む）、地方公共団体補助金	

事業活動支出計	約53億4千万円
人件費	約25億8千万円
教育研究経費	約20億7千万円
うち、主な支出	
● 奨学費 … 約3億5千万円	
● 委託費 … 約5億3千万円	
● 減価償却額 … 約5億円	
管理経費	約5億6千万円
うち、主な支出	
● 広報費 … 約1億9千万円	
● 委託費 … 約1億6千万円	

博物館

〔春季企画展〕大谷大学のあゆみ 清沢満之と真宗大学／〔夏季企画展〕仏の諸相／〔秋季企画展〕大谷大学博物館の逸品重要文化財「判比量論断簡」実習展併催／〔冬季企画展〕衆縁の募斧斤の力―幕末・明治東本願寺再建の歴史―／〔特別展〕仏法東帰―大仏開眼へのみち―／開館日数は149日、入館者数は5719名

中期的な計画及び事業計画の進捗

グランドデザインの推進
第2次中長期プラン「グランドビジョン130（2022～2031）」の29の重点施策の推進がスタート【教育推進室における教育改善の取り組み／国際化の推進／学長裁量経費の募集】

※詳細は大学Webサイトの「事業報告書」参照



人事情報

退職

〔教育職員〕
鈴木 真太郎（任期制助教〔文学部〕）
2023年8月31日付

〔事務職員〕
福井 寛（学生支援部）
2023年4月22日付

〔事務系嘱託〕
加納 瑠実（学生支援部）
2023年4月22日付

中村 かおり（教育研究支援部）
2023年6月30日付（各通）

新規採用
鹿子木 あゆみ（企画入試部）
2023年9月30日付

〔寮監〕
中原 大貴（買練学寮）
2023年4月1日付

私たちの先生 Our Teacher

社会学部現代社会学科の徳田先生について、ゼミ生に先生の人柄やゼミの内容を紹介してもらいました。

幅広い社会問題を研究し 発表することで理解を深めています。

現代社会にある身近なテーマや、ニュースでみる事象を学ぶ現代社会学科。徳田先生のゼミは、「地域社会」「食品ロス」「自殺」など、個人の興味関心に合った幅広いテーマの学びを深められることから選択しました。

現在ゼミでは、卒業論文の制作に向けて既に準備を始めており、第1ステップとして、各々が選択したテーマに沿った文献の内容をまとめて発表しています。自分の発表が2週間に1回のペースであるため、準備は大変ですが、毎回徳田先生からの確かなコメントがあり、次回に向けての目標ができます。また、私たちが選択した幅広い分野について、分かりやすく説明をしてくださることもあり、皆で学んでいる雰囲気があります。



徳田先生は、自分自身もつ間違いに対して、一緒に考えて探ってくれる先生です。問いや興味関心が定まっておらず不安があったとしても、広い視野をもって学びを深めていけるゼミだと思います。



社会学部 現代社会学科の 私たちが紹介しました!

渡邊 さくら
社会学部 現代社会学科 第3学年

石田 彩奈
社会学部 現代社会学科 第3学年

社会学部 現代社会学科 准教授

Tokuda Tsuyoshi

徳田 剛



Profile

専門/社会学
1971年大阪府生まれ。神戸大学大学院化学研究科博士課程単位取得退学。博士(学術)。神戸大学文学部助手、聖カタリナ大学人間健康福祉学部講師・准教授・教授を経て、2017年大谷大学文学部着任。

Message for Students

ゼミでは、社会現象や社会問題から各学生が関心のあることについて、個別にテーマを見つけて出し、研究して発表します。学生たちが選ぶテーマは、環境問題や貧困・格差、少子高齢化、ペット問題など多岐にわたっています。特に自分の体験や興味に基づくことをテーマにすることで、モチベーションが高まり、腰の座った研究ができると思っています。

私自身は、大学卒業年に阪神・淡路大震災が起こり、ボランティアと同時に社会学科としての調査を行いました。ドイツの社会学者ゲオルク・ジンメルは理論研究を始めるに、大学院時代には「よそ者」論、マイノリティや異質な存在を社会や地域の中でどのように捉えるかというこの研究を行っていました。

「資料を読む」「内容をまとめる」「発表する」という3要素をゼミ生は2週間ごとに繰り返しますが、これは社会人になって求められる基礎力が繋がっていきます。自分が学びインプットしたことを人に伝え、聞いてもらう形でアウトプットする。そうすることで、理解が深まり新たな気づきが生れます。この循環を大学生活の学びでしっかりと身につけてほしいと思います。



保護者懇談会の様子(名古屋会場)



個別相談の様子(名古屋会場)



「370円昼定食」メニュー例



「100円朝定食」の様子

四国地区保護者懇談会

丸亀会場
2023年10月14日(土)
丸亀市市民交流活動センター マルタス
(香川県丸亀市大手町2丁目4-11)

徳島会場
2023年10月15日(日)
シビックセンター
(徳島県徳島市元町1丁目24)

※該当地区在住の保証人へ案内

また、生活のリズムを整え、バランスの取れた食生活を心がけてもらうため、今年度も「100円朝定食」を4月と9月の授業開始時および7月の前期試験期間中に実施しました。次回は1月の後期試験期間中に実施する予定です。保護者の方からも学生にぜひ利用を勧めてください。

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互に会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。毎年、役員会・評議員会を開催し、さまざまな事業を企画・推進しています。

大谷大学 校友活動 行事一覧 検索

こんな寄付方法もあります!

京都市のふるさと納税を活用した地域連携促進事業

本学では、京都市のふるさと納税を活用した地域連携促進事業を行っています。京都市にふるさと納税をする際、「寄付の使い道」の一つとして「大谷大学と協働!」を選択いただくと、返礼品(※)や税制上の優遇措置に加え、寄付金については、大谷大学と京都市で取り組む、大学・学生と地域の連携促進事業等に活用されます。

詳しくは大谷大学ホームページをご確認ください。

※総務省の告示により、京都市内にお住いの方には、ご寄付をいただいても返礼品を送付できません。

大谷大学募金 検索

教育振興資金寄付者(敬称略)

【個人】

宇多 良子 (山口県)	難波 明則 (大阪府)
岡村 隆 (山口県)	英 信哉 (愛知県)
酒井 洋一 (兵庫県)	英 亮 (愛知県)
末永 弘暢 (長崎県)	本多 佐保美 (千葉県)
末吉 満祐 (鹿児島県)	前田 研一 (新潟県)
武田 量則 (新潟県)	松田 憲周 (高知県)
田中 仁 (京都府)	三保谷 順 (愛知県)
力石 智 (愛知県)	山崎 顕量 (富山県)
鶴 禮子 (滋賀県)	匿名25件
中山 恵美子 (大阪府)	

【法人・団体】

NPO 法人 尋源舎	理事長 東館 昭見 (京都府)
株式会社 原了郭	代表取締役 原 悟 (京都府)
京都大谷クラブ	代表者 細川 信元 (京都府)
西光寺	橋本 唯彰 (茨城県)
有限会社 石間企画事務所	代表取締役 石間 裕 (東京都)
匿名2件	

◆ 件数 50件
◆ 寄付金総額 11,513,000円

税法上の優遇措置について

2023年2月1日から2023年6月30日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。今後も引き続き、募金を受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

教育振興資金(募金)について

教育後援会だより

「370円昼定食・カフェ丼」「100円朝定食」実施!

「地区保護者懇談会」とは、教育後援会役員ならびに大谷大学長のほか、学生支援部職員が当該地域に赴き、大学の現状を報告します。また、当日は学生の成績表を配付し、修学状況等についての個別相談に応じます。今年度後期は、左記のとおり開催予定です。該当地区の皆さまは、是非ご出席いただきますようお願い申し上げます。

教育後援会では、新型コロナウイルスの影響を受けている学生への緊急支援として2019年9月より2023年4月まで「200円昼定食(教育後援会支援定食)」を実施してきましたが、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行されたことに伴い、新型コロナウイルスに対しての支援は終了いたしました。

なお、2023年5月からは「370円昼定食」、さらには「370円カフェ丼」の支援を行っています。この「昼定食」は通常460円、「カフェ丼」は通常410円が370円で提供されるよう補助を行い、2023年前期には「昼定食」が1日平均216食、「カフェ丼」については1日平均63食の利用がありました。



Column

体感、実感、共感すること

私が、保育園で働いていた時のエピソードである。ある夏の日、5歳児たちと園庭でスイカを食べていた。一人の子が、「スイカの種を植えたらスイカできるかな」と、空いているプランターに自分の食べた種を植え出した。すると、次々他の子どもたちも真似をし、プップと種を飛ばしながら、なんとも楽しそうな姿があった。私は、「まさかできないよね…」と思いつつ、期待を膨らませてその瞬間と一緒に楽しんで。すると、驚いたことに、数日後芽を出し、その後花を咲かせ、実になり収穫するまでに至ったのである。子どもたちは、一つひとつの過程に興奮し、さあよいよ直径15センチほどの小さなスイカを食べる時が来た。

ほんの少し赤くはなっていたもの、お世辞にもおいしいとは言えないスイカのかげらたちを子どもたちは、「おいしいー」と食べた。命のつながりを体感し(体で感じ)、実感し(心で感じ)、友だち同士で共感しながら見守った、その過程を含めて出た「おいしいー」という感想なのである。

コロナ禍でさらにICT化が進み、仕事が効率的にできることを知り、新

たな人とのつながり方があることなど無限の可能性を知った。しかし、どれだけ科学が進化しても、子どもの世界は、アナログから始まる。目の前の小さな発見にわくわくし、試行錯誤しながら日々を過ごしている。保育者になる学生には、特にこの感覚を大事にしてほしい。授業で水遊びやおにごっこなどをするなど、わくわくしながら楽しさを体感、実感、共感してさまざまな遊びや保育方法を簡単に調べることができるが、自分自身が「楽しい!」「おもしろい!」と感じていないことを子どもたちに伝えてもうまくはいかない。進化しているようで退化している感覚があるのではないか。体感、実感、共感することの大切さを私は感じている。



教育学部 教育学科
幼児教育コース 講師
尾場 幸子
専門分野/乳幼児の人間関係・保育・幼児教育・個と集団づくり

WHAT'S

じんげんasile?

『じんげんasile』は、学生・保護者・教職員3者による話題共有を目的とした学内広報誌です。
このタイトルは、本学の象徴である源泉(じんげん)館と、中世に存在した公的な避難所を表すフランス語「asile(アジール)」から命名されました。飛び立つ力をたくわえる「asile」のような大学でありたい、という願いが込められています。
ぜひ、友人や先生、家族と、この冊子を開いてみてください。

時代を照らす仏教のことば

これを知る者は

これを好む者に如かず。

これを好む者は

これを楽しむ者に如かず。

孔子(『論語』岩波文庫 84頁)

